

# 甲州道中+α (酒折中心街)

さかおり

甲斐府中の古道を歩く

武田家三代の盛衰体感

二の堀跡を歩く  
その華やかな町人文化

甲州道中+α(酒折中心街)

弘法大師伝説+α  
太宰治が愛したまち+α

中道古墳群+α  
山崎方代/長田円右衛門

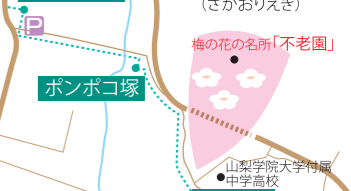
ヤマトタケルノミコトと連歌の里「酒折」から、歴史風土に触れながら甲府中心街へ散策するルートです。  
ぶどう園の中の田舎道を歩いたり、お土産を買ったりもできる楽しい道。  
車と歩きのミックスでもOK。四季折々の風情がステキです。

(表示の時間は移動時間の目安です。※見学時間含まず)

**スタート** 130分コース  
(滞在時間は含まれません)



**酒折駅** (さかおりえき)



「かいてらす」では山梨県の様々な産物の見学や購入ができます。

酒折宮 (さかおりのみや)

連歌発祥の地とされるいにしへの風を体感

酒折宮 (さかおりのみや)

酒折宮 (さかおりのみや)



ここまで 5分

## 甲斐善光寺

(かいぜんこうじ)  
**信玄の信仰を実感**  
信玄が川中島合戦で信濃善光寺の焼失を恐れ、本尊などを甲斐国へ移して建てたお寺。国指定の文化財である金堂や山門は荘厳な雰囲気を感じさせています。巨大な龍が描かれた金堂の吊り天井は、手をたたくと共鳴が起るしくみで「日本一の鳴き龍」と呼ばれています。



本居宣長の碑文



全国最古の源頼朝坐像。教科書にも掲載されています。



境内ゆっくり見てね

ここまで 5分

## 酒折宮

(さかおりのみや)

**連歌発祥の地とされるいにしへの風を体感**  
民衆のネーミングセンスにとっても共感

古代、ヤマトタケルノミコトが東夷征伐の帰りに立ち寄ったと伝わる場所。その際、ミコトが歌を詠み従者に問いかけたところ、誰も答えられなかったのを、火燭人が返歌したことには感嘆し、厚く褒美をしたという話が『古事記』に載っています。この問答から「連歌発祥の地」とされています。

## おぼネドク スタート地点

酒折が山梨の中心地?

中世以前には、甲斐の国の道は酒折宮を起点とされていました。ここから各方面に九筋(くすじ)の道がはじまりました。

※甲府駅南口にはレンタカー会社が多数あります  
●各ポイントともPマークの無い所は駐車場はありません  
Pマークは有料駐車場です



前スポットから 10分

## 東光寺

(とうこうじ)

**仏殿と庭園の精神性を体感**  
甲府五山の一つ。創建年は不明ですが、平安末期に甲斐源氏の祖・源義光(新羅三郎)が祈願所として諸堂を建立し、興国院と名づけたといわれています。東光寺と改名されたのは鎌倉期のこと。仏殿は国の重要文化財で、蘭溪道隆の作と伝わる庭園は一見の価値があります。



庭園拝観は有料



前スポットから 10分

## 山八幡神社

(やまはちまんじんじや)

**甲府城築城の際に遷座**  
甲斐市(旧竜王町)から甲府(八日市場)へ遷座し、甲府城の築城でさらに現在地へ移されました。



前スポットから 5分

## 天尊神社

(てんそんたいじ)

**歌碑の多さを実感**  
信虎が建立したお寺。信玄の家臣で後に徳川家康に見出され、佐渡金山など多くの鉱山を開発した大久保長安の墓や、甲斐出身の俳人・山口素堂の墓碑があります。



前スポットから 5分

## 教安寺

(きょうあんじ)

**大きな石仏や古い鐘があったり江戸の香りも体感**  
「六地藏石幢」は中世の甲斐石造物文化を代表するもの。またここは、甲府初の芝居小屋がおかれた場所です。江戸時代、甲府に来て琴や三味線を教えた謡曲師の墓もありました。

●家康の八男・仙千代のお墓もなぜかあるのです。

## 大地蔵

(おおじぞう)

**こう名付けざるをえないと実感しました**  
体に見立てた自然石の上に人工的に彫った頭部をのせた、一風変わったお地藏さまは首地藏といひ山梨の各地に点在します。宝永4年(1707)の建立で高さは5.6m。現在の頭部は新しく作られたものです。隣には熊野神社の祠と山の神の石碑もあります。※写真の小学生は身長145cmだそうですのでその大きさを感じてください。



大仏さん?

前スポットから 15分

## 能成寺

(のうじょうじ)

**富士山もよく見える**  
甲府五山の一つ。信虎の曾祖父・武田信守の菩提寺で、もとは笛吹市にあったものを移しました。愛宕山の南東麓に位置し、芭蕉の句碑もあります。



ちょいメモコラム  
おぼネドク

## 甲府柳町宿とは?

(こうふやなぎまちしゆく)

**本陣・脇本陣もありました**  
甲州道中の甲府宿の正式名称。甲府城下町の中心地として発展した柳町は問屋場などの機能が集中していました。本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠21軒ありました。



前スポットから 20分

## 微典館跡

(きでんかんあと)

**当時の向学の志に共感**  
江戸時代に創設された甲府学問所。移転を重ね、明治9年(1876)に今の中央公園付近へ移りました。現・山梨大学教育学部の前身です。公園内に石碑が建てられています。



前スポットから 10分

写真は南口

駅前の信玄像とパチリ



前スポットから 5分

## 甲府駅

ゴール

桜の季節もおすすめ



写真は鉄門(くろがねもん)

前スポットから 20分

## 舞鶴城公園

(まいづるじょうこうえん)

**ゴール間近。天守台でコース実感**  
甲府城跡が公園として整備され、一般開放されるようになったのは明治期です。最近では、鍛冶曲輪門や稲荷曲輪門、稲荷櫓などが復元されました。桜の名所としても有名。天守台からは360度の眺望が楽しめます。

## みのお道分岐点

(みのぶみちぶんぎてん)

**南は静岡、西は信濃 旅人の心模様を体感**  
かつて甲州道中沿いで信濃路と河内路(みのお道)との分岐点を知らせていた道標。甲府空襲で焼失したものを住民らが再建しました。丸の内郵便局東交差点にあります。



前スポットから 10分